

糸川氏出馬せず

代表を辞任

引退は否定

きょう衆院解散

民主県連に衝撃

候補者ゼロ 異例の事態

来月2日公示の衆院選をめぐり、福井新2区で民主党の公認候補に内定していた前衆院議員で党県連代表の糸川正晃氏が20日、福井市内で記者会見し、一転して立候補しない意向を表明した。県連代表も同日に辞任したが、離党や政界引退は否定した。

同日、福井市の党県連事務所で開催された党県連の緊急幹事会で、糸川氏が衆院選の不出馬と代表辞任の意向を伝えた。不出馬の理由について「自分の理想として掲げている政治と、現在の党利党略の政治のあり方にずれを感じる。(衆



衆院選不出馬を表明した糸川氏。20日、福井市の党県連事務所

院議員の)4年間の任期で県民、国民に対して責任を負える自信がない」と述べた。「(2012年の衆院選で)落選してから今の政治につい

ていろいろと考えるようになった」とした上で、「現時点で自分の(信念で)語れるものがない」とも語った。一方で「もう少し勉強して

精進したい。そしてまた政界に戻りたい」と強調し、今後の国政選挙出馬への意欲もみせた。今後の県内での選挙活動については「全くなし」という。糸川氏は国民新党を経て民主党に移り、09年衆院選の旧2区で出馬。比例復活当選し、厚生労働政務官などを務めたが、12年衆院選で落選した。昨年10月、次期衆院選に出馬する意向を示し、党本部に公認候補を申請。同12月、党本部から福井新2区の公認候補の内定を受けていた。18日に党本部に不出馬の意思を伝え、正式に内定が取り消された。(野田勉)

新幹 現行 市民 延伸と 20日、 も現行 「ド」 「い ようぞ 提出し 国土 国土 敦 ずすた 直通運 トレイ 電車)の 一方で 開業3 合、J 発が問 示して 請願 乗り 在来線 離の関 歩く必 便性の として、 国に 12月 同、 会を訪 県は 新幹

衆院福井新2区の民主党公認候補に内定

していた糸川正晃氏が20日突然、不出馬を表明し党県連代表も辞任したことで、解散直前にもかかわらず、同党は県内2選挙区ともに候補がいらない異例の事態に陥った。党県連には衝撃が走り、候補者選びは振り出しに戻った。県連は来月2日の公示が迫る中で党公認の県内候補者ゼロを避けるため、擁立に向けた調整を急ぐとともに、ほ

立向け調整急ぐ

党県連の緊急幹事会が始まったのは20日の午後4時半ごろ。糸川氏がその席で、不出馬を伝えた。糸川氏の新2区公認は昨年12月に早々と内定していただけに、出席したある県議は「初めて聞いた。無念の一言」と驚きを隠さなかった。玉村和夫幹事長(代表代行)も「このタイミングでの不出馬は想定外の出来事」と驚いた。

心候補者擁立を進めたい」と述べたが、擁立時期についてはなるべく早いうちに「と述べるにとどまり、調整の難しさをにじませた。糸川氏の不出馬の理由の一つは、県内小選挙区の定数が3から2に減り、区割りが変わったことがある。糸川氏は前回の衆院選で旧2区から出馬。今回の新2区では旧2

はいえ糸川氏は会見で「新たな選挙区が、今回の不出馬の理由の少しにはなっていない」と打ち明けた。新1区は、党県連顧問で元衆院議員の笹木竜三氏が出馬を望んでいたが、党公認が得られない中で18日に断念し、玉村幹事長は「候補者擁立は事実上困難」との見方だ。一方で、前回衆院選に旧1区で

2区で民主、維新の競合を避けるため候補者の「すみ分け」となる見込みだ。民主が1区の公認候補擁立を見送れば、1998年の結党以来初めてになるが、玉村幹事長は「勝つために2区に重点を置くことも一つの考え方」と強調。公認候補の擁立を見送る方針の社民党などにも協力を仰ぐ。自民1強に対抗するため、民主は近日中に他の野党との合同会議を開き、対応を協議する考え。玉村幹事長は「野党連合でできるだけ一本化を図り、与党の批判票を集めるために強くアピールでき

は新幹 現行 市民 延伸と 20日、 も現行 「ド」 「い ようぞ 提出し 国土 国土 敦 ずすた 直通運 トレイ 電車)の 一方で 開業3 合、J 発が問 示して 請願 乗り 在来線 離の関 歩く必 便性の として、 国に 12月 同、 会を訪 県は 新幹